

令和5年3月14日

保護者様

柏市市立土小学校

校長 梅津 健志

## 第2回学校評価アンケートの結果について

学校評価アンケートのご回答ありがとうございました。1学期のアンケート結果をいかしながら、本校の「目指す子どもの姿」実現に向けて、土地域を教材とした学習単元や学年担任制に取り組んでまいりました。

引き続き、ご家庭と学校、地域で課題を共有しながら、子どもたちを育てていきたいと思えます。本アンケート結果を次年度の教育活動に活かしてまいりますのでご理解ご協力のほどよろしくお願いたします。

### 第二回学校評価アンケート結果概要

#### ・グラフ(数値の見方)について

質問に対して「すごくそう思う そう思う あまり思わない 全然思わない わからない」の5点で回答してもらい、わからないを除く4点は得点化して、平均値を示しました。3.0以上であれば概ね満足できるとし、3.2以上は大いに満足できるとみえます。2.8以下については、課題が大きい・理解が不十分であるとみえます。

※数値(ポイント)やパーセンテージについての詳細はこちらからご確認ください

[①学校評価アンケート](#) [②目指す子どもの姿\(4つのC\)アンケート](#) [③学校評価記述内容](#)

#### ・学校教育目標について

教職員は、学校教育目標を意識して(3.32ポイント<肯定的回答100%>)教育活動を行っており、子どもたちにも伝わっていることがうかがえます。保護者も、学校教育目標については、一定程度(3.11ポイント<肯定的回答84%>)の浸透が進みました。一方で学校教育目標を具体的に家庭での姿に落とし込んでいくまでには引き続き課題(2.75ポイント<肯定的回答64%>)があると認識しています。今後は、4つの目指す姿についてのアンケート等も実施し、学校と家庭で意識化を図っていけるようにしていきます。

#### ・学習に関わる内容について

教職員は、新校舎や新しい環境を生かした教育活動を意識して(6項目平均3.34ポイント<肯定的回答平均87.7%>)取り組んでおり、今後はさらに協働的な学びにつながるよう実践を重ねてまいります。保護者の理解も高まっています(6項目平均3.16ポイント<肯定的回答平均83.9%>)。家庭での端末活用について工夫できるよう改善を図っていきたく思えます。学年担任制については、2学期から2年生も学年担任制を導入し、面談でも各学年の担任と面談をする機会を設けることにより、保護者の理解も進んできました。教職員間でも良い実践を共有しながらより良い体制にしていきます。

#### ・生活に関わる内容について

教職員は生活指導に関しても、学校教育目標と目指す姿を意識した(8項目平均3.23ポイント<肯定的回答平均90.8%>)指導に取り組んでいます。自己選択や自己決定に関しては、教職員が意図的に機会を設けているものの、児童から認識されていないことがあるため、より具体的な指導を行ってまいります。

保護者からは、地域に開く方針や生活に関わる内容について一定の理解や方向性への支持(8項目平均3.07ポイ

ント<肯定的回答平均 79%>)が進みました。引き続き、丁寧な情報発信や、アンケートや教育ミニ集会を活用した保護者の思いの共有を図っていきます。

### ・児童の評価について

全ての項目が3.0以上と概ね満足できるものの「学校教育目標の意識(3.11)」「行事での同学年やほかの学年とのかかわり(3.13)」が課題であると受け止めています。学習活動におけるグループでの取り組みや他学年との交流は進めてきましたが、行事を通じての交流は月に一度の土っ子学級や4年生以上のクラブ活動、5年生以上の委員会活動と多くありません。学習での交流が進んでいるため、行事における交流の意義を捉えなおし、交流を促進する必要があれば、行事としての位置づけを明確にしていきます。また、縦割り活動の充実を今後検討していきます。

### ・目指す子どもの姿(4つのC)について

本校の6年間で「目指す子どもの姿」を数値化(質問に対して「とてもあてはまる あてはまる あてはまらない まったくあてはまらない」の4点で回答したものを得点化し平均値を示す)しているものです。次年度の取り組みに活かしていきます。

土っ子の全体的傾向として、コミュニケーション(関わり合う力)3.30ポイント、コントロール(自律する力・生活力)3.28ポイント、チャレンジ(挑戦する力)3.26ポイント、コンセプト(見通す力)3.12ポイントの順にポイントが高くなっています。「自分を知る、地域を知る(コントロール)」ことに重点をおいた1学期から、総合的な学習(生活科)などで本格的に地域等と関わる2学期に他者と関わりながら協働していくことが影響を与えています。市内平均と比較すると、自己肯定感が特に高くなっており、地域との関わりや協働による相乗効果があったと考えます。

また、相談する力が1学期より向上し、かつ市内平均より高いことから、学年担任制や地域との関わりなど多くの大人が関わることで相談する力を向上させていると捉えています。

次年度も、今年度同様1学期から「自分を知り、自分を表現する」を高め、2学期以降の総合的な学習(生活科)で「他者を認め、他者と助け合う」を高めていきます。さらに、総合的な学習(生活科)については今年度から実践し、教育ミニ集会等で計画したカリキュラムにより、教職員・児童・保護者・地域が見通しをもって取り組むことで、チャレンジやコンセプトの各項目が向上していけると想定しています。引き続き、ご協力の程よろしく願いいたします。

柏市で示す4つのC	土小の6年間で目指す子どもの姿	点数
コンセプト(見通す力)	学んだことを実生活や実社会で活かす コンセプト(振り返り)	3.12
チャレンジ(挑戦する力)	目標をもって、調整しながら粘り強く取り組む チャレンジ(粘り強さ)	3.26
コミュニケーション(関わり合う力)	他者を認め、他者と助け合う コミュニケーション(協働)	3.30
コントロール(自律する力・生活力)	自分を知り、自分を表現する コントロール(自己肯定感)	3.28